

こども園における自己評価

八尾市立志紀おおぞらこども園

4:十分達成している 3:ほぼ達成している 2:検討を要する 1:改善を要する

項目	内容	評価	備考欄
教育・保育目標について	・目標の具体化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか	4	前年度の子どもの姿や保育内容確認し保育計画に活かし共通理解を図った。
	・目標は、各施設や地域の特徴を生かしているか	4	
	・目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか	4	
	・目標は、前年度の反省を活かしながら全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか	4	
教育・保育内容について	・指導計画は、教育保育計画に基づき作成しているか	4	・指導計画は、前月の内容を評価・見直し、乳幼児の実態に即して作成した。 ・子ども一人ひとりの興味や発達に合わせた援助を行いながら、集団での成長も促せるよう保育内容を工夫していた。
	・毎月の指導計画は、乳幼児の実態に即して作成しているか	4	
	・月ごとに指導計画の評価・見直しをし、その結果を指導計画に反映させているか	4	
	・1日の流れ（ディリープログラム等）は、前日の評価をもとに日々改善に努めているか	4	
	・行事のねらいに沿った計画を立て、適切に実施しているか	4	
	・幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく援助・支援を適切に行っているか	4	
	・自主性や主体性を重んじて生活習慣が身につくようにしているか	4	
	・子どもの姿を見取り、興味関心に応じた教育・保育を行っているか	4	
	・子どもの発達や成長につながるよう環境の構成や援助の工夫をしているか	4	
	・同僚性を発揮し、保育のねらいや育てたい力を話し合い実践しているか	4	
	・素材・用具を適切に活用しているか	4	
	・保育サポートのための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮しているか	4	
・子どもの人権に十分配慮し、互いに尊重する心を育てているか	4		

項目	内容	評価	備考欄
健康・安全について	・食育を通して、子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫しているか	4	<p>・栄養士による食育指導や、栄養士と調理員による、お手伝い活動(食材の皮むき)や、味見当番(園児が給食の味見を行ない全園児に知らせる)を実施し、食に興味・関心がもてるようにした。</p> <p>・看護師による保健指導では3～5歳児まで、年齢に合わせた教材を用意し、健康に過ごすための方法を伝えた。</p>
	・食物アレルギーは、個別に配慮して食事を提供しているか	4	
	・年齢に合った保健対策(発育・発達の把握、SIDS予防、感染症対策等)を講じているか	4	
	・健康・安全な生活に必要な習慣や態度が身につくよう取り組んでいるか また家庭への啓発を行っているか	4	
	・避難訓練や交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか	4	
	・乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか	4	
職員 の 資 質 向 上	・職員の研修ニーズを把握し、職員に必要な研修機会を確保しているか	4	<p>・様々なテーマの研修を職員に周知し参加を促した。</p> <p>・園内研修や研修で得た知識は、職員間で共有し、日々の保育に反映するよう努めた。</p>
	・研究主題は、教育・保育目標の具現化につながるものであるか	4	
	・研究・研修の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか	4	
	・各種研究会、研修会、講習会での内容を園内に還元しているか	4	
職員 運 営 管 理 に つ い て	・職務内容や相互の連携に必要な情報の共有方法が明確で、協働できる体制になっているか	4	<p>・会議内容の充実に向け、日々検討を重ねている。</p>
	・職員を適材適所に配置し、係や仕事の分担が能率的に行える組織になっているか	4	
	・各種会議や打合せを適切かつ効率的に進めているか	3	
	・職員は公務員としての責務や職場での立場を理解し、協力を惜しむことなく施設の運営にかかわっているか	4	
	・運営改善の課題について把握し、計画的な取り組みを行うとともに、定期的に検証・見直しをしているか	4	
守 秘 義 務 の 遵 守	・乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか	4	<p>・個人情報とは、常に適切に取り扱い守秘義務の遵守をしている。</p>
	・公文書收受、発送、処理を適切に行っているか	4	
	・各表簿は、適切に作成、処理しているか	4	

項目		内容	評価	備考欄
開かれたこども園づくり	施設・地域との交流や連携	・他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか	4	・昨年度の交流内容を評価反省したうえで、小中学校との交流やふれあい農園、まちづくり協議会の方々との交流を行った。地域施設の利用としては、今年度も図書館を多く利用した。
		・地域の様々な人と触れ合う中で、乳幼児が楽しく過ごし、充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか	4	
		・担当者同士が、事前打ち合わせや活動の振り返りを行い、互惠性のある交流になるように工夫しているか。	4	
		・合同研修や授業・保育の見学を通して互いの教育・保育に対して理解を深めているか	4	
		・乳幼児の興味や関心に基づいて地域の施設等を利用し、保育に活かしてしているか	4	
		・地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか	3	
		・子育て支援機関と情報共有しながら、連携をとっているか	4	
	子育て支援	・施設を開放し、地域の親子が遊べる場や機会の提供を行なっているか	4	・一時預かりは需要が高く、利用者にとって安心できる場となるよう取り組んだ。 ・地域交流会を月2～3回実施し、地域の在宅子育て支援を行った。
		・職員による「育児に係る子育て相談」は充実しているか	4	
		・医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか	4	
		・一時預かり保育の利用者にとって安心できる場になるよう努めているか	4	
	情報の発信	・園だよりやクラスだより、ホームページ等で教育・保育内容を発信し、理解をしてもらうよう努めているか	4	・主な行事を園のホームページに掲載し情報発信を進めている。 ・小、中学校主催の会議にて園の状況を報告するなど地域への発信を行った。
		・地域の連絡会等でこども園の取り組みを発信するとともに、地域施設の事業について知り、教育・保育の充実に役立てているか	4	
	外部評価	・第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか	4	・保護者アンケートを実施し施設運営に反映している。
・地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか		4		
施設・設備	・施設内外の設備や遊具の安全点検を計画的に行っているか	4	・定期的に遊具や遊び場等点検を行った。	
	・遊具や用具等を、活用しやすいように整理、保管しているか	4		
	・災害や不審者等に対応する整備を行っているか	4		
	・掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか	4		
経理出納	・各種会計を適正かつ適切に処理しているか	4		

成果

- ・各学年ごとに公開保育や事例研究会を実施している。子どもの見取りについて意見を出し合い、より良い環境構成や援助方法について話し合うことで、各自の保育力につながっている。他園で行われる研究発表や園外での研修会へも意欲的に参加し、職員一人ひとりが質の向上への意識をもち取り組んだ。支援児には困り感に寄り添い丁寧な対応を行った。子どもたちは、支援児を含め「みんな」で過ごす中で、助け合い、認め合いながら共に成長している。
- ・看護師による保健指導や栄養士等による食育指導では、子どもから健康、安全、食事に関する会話が聞かれるようになり、興味、関心が広がっていると実感する。
- ・毎月の避難訓練と年数回の防犯訓練を実施した。毎月、訓練を行うことで、子どもたちの避難に対する意識が高まっている。職員も、その時の保育状況に合わせて避難方法を検討し実践している。
- ・新型コロナウイルス感染症が5類になったことから、各種行事や保育参観において参観者の人数制限をなくし、多くの保護者にご参加いただけた。異年齢クラスとの交流や小・中学校及び地域の方との交流、医療型児童発達支援センター「いちよう」との交流も行い、憧れや優しい気持ち、親しみが湧くなど、それぞれが子どもたちにとって良い経験となっている。保護者には園だよりやポートフォリオ、スライドショーにより教育・保育内容を知らせ、第三者委員や小・中学校、出張所にも園の様子がわかる便りを配布し情報発信した。
- ・一時預かり事業はより需要が高まっている。一時的ではなく、年間を通して利用される方も多い。
- ・地域交流は、季節感も大切にしながら毎回内容を工夫したことで利用者に喜ばれ、継続的な参加につながった。

課題

- ・教育・保育に関する共通理解。
- ・会議の持ち方(効率的な進行、内容)
- ・地域資源に関する情報共有
- ・危機管理に関すること

改善策

- ・今年度の教育・保育内容の評価を行い、次年度に向けて検討する。
- ・会議では、議題や進行、論点について事前に検討し、会議当日に臨む。
- ・保護者支援や在宅児支援を行う中で、その都度必要な地域資源について学び、情報提供できるようにする。
- ・様々な防災や防犯を検討し、避難訓練を実施していく。